

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第21回本部会議 記録

日 時／令和2年8月7日（金）
14：30～14：47
場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

【副本部長（中野副知事）】

それではただいまから、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部第21回本部会議を開催いたします。早速、議事に入ります。まず、新型コロナウイルス感染症について状況を保健福祉部長からお願いいたします。

【三瓶保健福祉部長】

新型コロナウイルス感染症の感染の状況などについてでございますが、資料1をご覧ください。はじめに、1の（1）「道内の発生状況及び検査の状況」について、9ページ以降をご覧くださいと思います。前回の本部会議で報告して以降の新たな事例になります。道内におきましては、7月31日以降、昨日までに新たに101例の新型コロナウイルス感染症が確認されまして、これまでの累計で1,514例が発生している状況となっております。

また、「検査及び患者の状況」につきましては、12ページになりますが、札幌市等の検査分を含めまして、昨日時点で32,178名の検査を実施しております。陽性累計は1,514名、このうち陰性確認済みの方は1,291名、お亡くなりになられた方が103名となっております。現在の患者数は120名でありまして、その内訳として入院患者が85名、宿泊療養施設には、アパホテル&リゾート札幌に、35名の方が入所されてございます。最近の傾向といたしまして、13ページになりますが、まず、アラート指標を踏まえまして、第2波の際に、札幌市長との緊急共同宣言を発出した、4月中旬、緊急事態宣言後の6月1日、直近8月6日でございますが、この状況を比較すると、「新規感染者数」は、4月中旬を上回る数値となっている一方、「リンクなしの感染者」も増加傾向にありますが、新規感染者全体の37%となっておりまして、4月中旬よりも低い状況でございます。

続きまして、医療提供体制についてですが、「入院患者数」は増加傾向にございますが、「重症患者数」は減少しておりまして、病床数に対する占有率は低い状況でございます。また、PCR検査につきましては、検査数が4月中旬よりも大きく増加している一方で、陽性率は上がっていない状況にありますが、これは、道民の皆様の意識が高くなっており、帰国者・接触者外来への相談や医療機関への受診が増えている中、検査数の増加により、感染の可能性のある方を適切に把握した結果、新規感染者の確認が進んできているということが言えると考えてございます。

次に、新規感染者の年代別割合を見ますと、「30歳代までの感染者」は、4月中旬では新規患者全体の「19%」、宣言解除の直後では「26%」である一方、直近の1週間では「67%」と約7割になっておりまして、現時点では、新規感染者は若い世代で、比

較的症状の軽い方が多いと考えてございます。次に、ここ一ヶ月あまりの感染事例で見られました感染経路等について、東京や大阪など感染拡大地域との往来、飲み会やライブへの参加、家庭内やドライブで行動をともにするなど挙げられてございます。

こうした状況を整理いたしますと、新規感染者が増加傾向にあり、特に、飲食店や若い方が集まる場での感染が確認されておりまして、若い世代は重症化しにくいとされておりますが、感染に気付かないまま行動している可能性もあり、その結果、若い方の感染者の増加が、高齢者の方々への感染リスクを高める恐れがあると考えているところでございます。

続きまして、資料の1ページにお戻りいただきまして、1の(2)「国内の発生状況」をご覧いただきたいと思っております。下線を引いた部分が更新した箇所であります。8月6日0時までに確認されている感染者は42,263例で、入院治療等を要する方が12,308名、お亡くなりになられた方が1,026名となっております。

次に、2「国などの対応」について、4ページの(71)であります。本日、第5回の新型コロナウイルス感染症対策分科会が開催されたところでございます。前回の分科会、7月31日でございますが、ここでは4段階の感染状況が示されましたが、本日の分科会では、現状を判断するための新たな指標等が検討されまして、今後、どの程度の感染が生じた場合に、どの程度の政策的介入を行うかなどについて、議論されるものと承知しているところであり、今後、その結果も踏まえるなどして、道の警戒ステージ等も考えていかなければならないと考えてございます。

最後に、3「道の対応」につきまして、8ページの(76)ですが、昨日6日、第2回目の北海道新型コロナウイルス感染症対策有識者会議を開催いたしまして、これまでの道の取組の妥当性や課題等につきまして、ご議論いただいたところでございます。私からの報告は以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

それでは、その他各部などから何か報告などありますでしょうか。それでは危機管理監をお願いします。

【野村危機管理監】

コロナに関連いたしまして、今般の災害対応、これにつきましても若干補足をさせていただきます。ご存知のとおり、昨日から本日にかけまして、台風4号から変わりました温帯低気圧の本道接近によりまして、日本海側では強風が吹きますとともに、宗谷地方を中心に非常に激しい雨となったところでございます。関係各課におきましては、昨日から非常配備体制をとっていただきまして、今朝7時には災害対策連絡本部を設置させていただいたところでございます。早朝から各部等におきましては災害対応にあたっていただいたところでございます。特に今般は利尻・礼文という離島含む地域の中での災害ということもございまして、宗谷振興局建設管理部の出張所をはじめ、それぞれ非常に現地で活躍いただいたところでございまして、感謝を申し上げます。この間、被災された皆様、それから避難された皆様には心よりお見舞い申し上げますけれども、特に今般、市町村の皆様にはコロナ対応ということも含め、非常に熱心に対応いただきました。

ことも感謝しなければならないと私どもは認識してございます。

今回の災害の詳細については、本日の会議の趣旨ではございませんので、お手元の参考資料を配付させていただきました。参考資料で、概要の方はご確認いただけたかと思うんですけれども、これら関連しまして、避難所の設置状況だけ若干触れさせていただきたいと思えます。参考資料2枚ものがございますけれども、一番後ろのページを見ていただければと思えます。避難所の設置でございますけれども、ちょっと字が小さいんですけれども、宗谷管内の6市町村、それぞれのところで、避難所が設置されたところがございます。箇所数につきましては、一時避難所もございますので、最大では39ヶ所ございましたけれども、37避難所が設置され約280名ほどの方が、一時避難あるいは長期の避難をしていただいたところがございます。

コロナ対応というのは先般の議会議論でもございましたけれども、物資の供給というのは非常に重要なところでございましたが、幸いにも道の備蓄も宗谷振興局の方には届いておりましたけれども、それぞれ、市町村の皆様も非常に意識が高くて、それぞれ必要な備品等も準備いただいたこともあり、道の備蓄は使わないで対応できたというところがございます。他の各市町村におきましては、避難所におきましても、今般の新型コロナウイルス感染症への対応を念頭に、受付で検温していただく、あるいは体調の確認にアンケートしていただく等々、三密を避けるために距離を空けて座るといったことを、当然ながら、様々な感染症対策に留意した運営をいただいたように承知してございます。

3月10日の大雨、融雪期の災害の際、標茶町様はじめ、様々な市町村も克服されてますけれども、今回の災害時における6市町村においては、非常に熱心に対応いただいた承知してございます。

幸い、雨のピークは、皆さんもテレビ等でご確認いただいていると思えますが、ピークは越えつつありますけれども、雨の関係の災害というのは、降り終わってからの河川の増水等々、終わった後というのが非常に油断のならないところがございますので、検討を怠ることなく、災害対応、併せてコロナへの対応に万全を期して私どもも参りますので、皆様のご協力をぜひよろしくお願いしたいと思います。私からは以上です。

【副本部長（中野副知事）】

その他、ご発言などありますでしょうか。よろしいですか。そうしましたら、今後の対応などにつきましては、本部長からお願いをいたします。

【本部長（知事）】

保健福祉部長から説明があったとおり、道内においては、連日2桁の新規感染者が確認されている状況でございます。また、東京、大阪をはじめ、全国的に感染が急激に拡大している中、お盆の時期を迎えて、帰省や旅行などで道内外の往来が活発になることから、感染の拡大が懸念される状況であります。そのため、お盆休みを前に、帰省、旅行、会合などにあたり、道民の皆様、来道される皆様に注意喚起を行うことといたします。

まず、体調が悪い場合には「出かけない」という選択をお願いいたします。その上で、帰省や旅行、会合については、感染リスクを回避できるかどうか、皆さんで事前に話し

合ってください。話し合った結果、感染リスクを防止することが徹底できない場合には、帰省や旅行、会合を控えるなど慎重にご判断してください。また特に、感染が拡大している地域への往来については、慎重にご判断いただきたくことをお願いいたします。

また、特に若い世代の方々の感染が拡大している状況があります。若い方々は、感染していても比較的症状が軽く、自覚がない場合もあり、若い方から高齢者の方や持病のある方へ感染が拡大する恐れもございます。「自分が感染しているのではないか」という思いをもっていただくこと、みんなが集まるときは、マスクを着用すること、高齢者等に会う時は、健康状態に十分留意することをお願いいたします。

さらに、事業者の方々に対しては、これまでお願いしてまいりました「7つのポイントプラス1」を改めて徹底することをお願いするとともに、利用客の皆様、従業員の方々が大声を出さなくても過ごせるよう、静かなお店の環境づくりをお願いすることといたします。

各本部長におかれましては、市町村等とも連携して、あらゆる機会を通じて、道民の皆様や事業者の方々に注意喚起をお願いいたします。また、こうした行動については、道職員自ら率先して行っていくよう重ねて皆さんにお願いをいたします。そして、今、危機管理監から報告がありましたが、災害対応等に万全を期すとともに、避難所などにおける感染対策についても、引き続きよろしくをお願いいたします。

次に、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるステージや指標等の設定について議論されておりますが、その結果を踏まえ、本部として、現在の警戒ステージ見直しの作業に速やかに着手し、関係者の意見を聞きながら、本道の状況を踏まえたステージや指標等の設定を行うよう指示いたします。これからお盆休みなどで休みを取られる方も多いと思います。これまで、昼夜の区別なく働いていただいた方も多くいらっしゃるわけでありまして。休むときはしっかりと休んでいただきたいと思います。その一方で、組織としては、危機対応には万全の体制をとる必要があります。この点についても幹部職員の皆様の目配りをお願いいたします。私からは以上です。

【副本部長（中野副知事）】

それでは、ただいま本部長からの指示がありました内容につきましては、当本部としても決定して進めることといたしますので、各本部長におかれましては、必要な対応をお願いいたします。以上をもちまして、第21回本部会議を終了いたします。

(了)